

Maria João Pires & Antonio Meneses Duo Recital

巨匠二人による至福の一夜



孤高のピアニスト&ブラジルの天才

マリア・ジョアン・ピリス アントニオ・メネセス デュオ・リサイタル

ベートーヴェン：チェロとピアノのためのソナタ 第4番 ハ長調 op.102-1
L.v.Beethoven : Sonate für Violoncello und Klavier Nr.4 op.102-1

J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲 第2番 ニ短調 BWV1008
J.S.Bach : Suite für Violoncello allein Nr.2 BWV1008

ベートーヴェン：ピアノソナタ 第32番 ハ短調 op.111
L.v.Beethoven : Sonate für Klavier Nr.32 op.111

ベートーヴェン：チェロとピアノのためのソナタ 第5番 ニ長調 op.102-2
L.v.Beethoven : Sonate für Violoncello und Klavier Nr.5 op.102-2

2015 **11/5** (木) PM6:45

愛知県芸術劇場コンサートホール

S ¥9,000 A ¥8,000 B ¥7,000
C ¥6,000 D ¥4,000 学生 ¥2,500 (税込)

ご希望の方は中京テレビ事業ホームページよりエントリーしてください。
公演1か月前に抽選の上、お席をお取りできるか否か登録メールアドレスへご連絡いたします。エントリー開始は一般発売日以降となります。
webからお申し込みできるようになりました!

■プログラム、出演者等変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
■未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断り致します。

主催：中京テレビ放送 企画・運営：中京テレビ事業
後援：愛知県・名古屋市・愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会

お問合せ 中京テレビ事業 ☎052-957-3333

〒460-8613 名古屋市中区錦3-15-15 CTV錦ビル6F (月~金 AM10:00~PM5:00 / 土・日・祝日休業)

<http://cte.jp> 中京テレビ事業 検索 5/30(土) 一般発売
AM10:00~

座席表からお席をお選びいただけます!

中京テレビ事業チケットセンター	052-320-9933
チケットびあ(Pコード 259-249)	0570-02-9999
ローソンチケット(Lコード 46996)	0570-084-004
愛知芸術文化センターPG	052-972-0430
栄プレチケ92	052-953-0777
E+(イープラス)	eplus.jp
名鉄ホールチケットセンター	052-561-7755
中日サービスセンター	052-263-7282

チケット販売所

マリア・ジョアン・ピリス&アントニオ・メネセス デュオ・リサイタル

Maria João Pires & Antonio Meneses Duo Recital

アルゲリッチと並んで現代最高の女性ピアニストのひとりと評されるマリア・ジョアン・ピリスと、
ブラジル生まれのチェロの名手アントニオ・メネセス。互いに認めあう天才同士による夢のリサイタル！
めったに聴けないピリスのソロ演奏が一曲、プログラムに含まれているのにも注目です！

マリア・ジョアン・ピリス(ピアノ)

Maria João Pires, piano

1944年7月23日リスボンに生まれ、1948年には公開の場で初演奏を行った。
ポルトガルにおいて、カンポス・コエリョとフランシーヌ・ブノワに師事。後にドイツにてローゼ
ル・シュミットとカール・エンゲルに師事する。
15年に渡りエラート・レーベルで収録をしてきたが、その後ドイツ・グラモフォンに移籍し、すでに
15年間ドイツ・グラモフォンでレコーディング活動を行っている。
ピリスは1970年以来、芸術が人生、社会、学校に与える影響の研究に没頭、社会において
教育学的な理論をどのように応用させるか、その新しい手法の開発に身を投じてきた。破壊
的で、物質優先の論理を強調するグローバリゼーションに対して、個人の成長を尊重する新し
いコミュニケーションの仕方を研究した。
1999年に芸術研究のためのセンター、ベルガイシュを創立、現在、ベルガイシュにおける哲
学と教育を、スペインのサラマンカやブラジルのバヒアに広めている。
2005年、「アート・インプレッションズ」という演劇、ダンス、音楽の実験的グループを結成した。
2013年3月にはロンドン交響楽団のソリスト、チェリストのアントニオ・メネセスとのデュオとして
来日、全国9公演を行い、各地で絶賛を博した。
現在はベルギーに居を構え、シャペル・エリザベト王妃音楽学校で教鞭を執っている。



アントニオ・メネセス(チェロ)

Antonio Meneses, cello

1957年ブラジル生まれ。16歳の時、南米ツアー中のアントニオ・ヤニグロと出会い、渡欧。
1977年ミュンヘン、1982年チャイコフスキーの両国際コンクールで優勝を果たす。
ベルリン・フィル、コンセルトヘボウ管、ロンドン響、イスラエル・フィル、サンクト・ペテルブルグ響、
スイス・ロマンド管、ニューヨーク・フィル等の世界のオーケストラと共演を重ねる。共演した指
揮者には、カラヤン、ヤンソンス、アバド、プレヴィン、プロムシュテット、テミルカーノフ等が挙げ
られる。
プエルトリコのカザルス・フェスティバル、ザルツブルグ、プラハの春、モーストリー・モーツァルト、
カラムーア、タンゲルウッド、ラヴィニアなどの音楽祭に多数招かれる。フェルメール・カルテッ
ト、エマーソン弦楽四重奏団、メナヘム・プレスラー(ピアノ)、マリア・ジョアン・ピリス(ピアノ)等
と度々共演。1998年より解散までの10年間ボザール・トリオのメンバーとして世界ツアーを行
う。最近では、2013年にピリスとのデュオを東京、松本、札幌で行い、絶賛を博した。
録音は、カラヤン指揮ベルリン・フィルで、ブラームスの二重協奏曲、シュトラウスのドン・キホー
テをドイツ・グラモフォンから。C.P.E.バッハの3つの協奏曲、ハイドンの協奏曲等をリリース。
バッハの無伴奏組曲の再録音、シューベルト、シューマン、メンデルスゾーンのカelloソナタ等
があり、プレスラーとのベートーヴェンのチェロソナタ全集は高い評価を得た。
現在バーゼル(スイス)在住。ベルン音楽院で後進の指導にもあたる。

